

# KF

特定化学物質障害予防規則 非該当 環境対応品  
高品質・高物性 1成分形ウレタン塗膜防水材

## KFシールテクト WP-R

- 本書は、適切な条件のもと、適切な保管・処理・使用を前提とした場合の製品性能、一般的な施工方法・施工手順等を記載したものにすぎません。個別・具体的な工事における、当該工事条件下での製品の選択、保管・処理・使用、施工方法・手順等は、専門家である使用者たる施工業者様の責任であります。
- 本書は記載データ、数値などは当社にて測定した代表値を示したものであり、保証値ではありません。したがって、これらのデータ・数値は予告なく変更することがあります。また、記載された事項は信頼されると考えられる内外の技術情報並びに細心の注意を払って行った試験に基づくものではありません。したがって、ご使用に際しましては、事前に十分な検討の上ご利用くださいますようお願い申し上げます。
- 本カタログでご覧いただく塗料の色味は、実際の商品の色とは異なる場合がございます。予めご了承ください。

製造元

販売元

**KF** KFケミカル株式会社

〒105-0004  
東京都港区新橋1丁目1番1号  
日比谷ビルディング9F  
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023  
HP:<http://www.k-fine.co.jp>



※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。  
182-15900-002 2022.6

特定化学物質障害予防規則 非該当 環境対応品

1成分形ウレタン塗膜防水材

# KFシールテクト WP-R

Merits 製品特長

効率  
UP!

高品質

エコ

## 1 1成分形ウレタン塗膜防水材

1成分だから2成分の主剤・硬化剤の計量 / 攪拌の必要がありません。開缶後、材料を流し延べるだけで防水機能を付与できます。セルフレベリング性が良好なため容易に綺麗な平滑塗膜を作ることが可能です。特に材料を計量・攪拌するスペースの確保が困難な現場の場合、1成分形防水材(缶)を持っていき、開缶後すぐに使用できる点は作業を容易に進める事が出来ます。また、2成分形ウレタン塗膜防水材に比べ施工に使用する材料の種類が少なくなる為、発生する容器缶(産業廃棄物)を減らす事ができ環境配慮にも適しております。



1成分だから、  
攪拌がいらない

だから

作業時間短縮で  
施工も簡単!



その場で開けて塗れる!  
レベリングも良好!

人手・時間不足を解消!

## 2 高品質・高物性

JIS A6021 屋根用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形の物性に加え、JIS A6021 ウレタンゴム系高強度形規格の抗張積(伸び・引張強さを合わせた数値)700N/mm以上をクリアした高品質・高物性のウレタン塗膜防水材です。高物性タイプの製品である為、補強用クロスを省略する事ができ、作業の効率化を図る事が可能です。

伸びる!

KFシールテクトWP-R

強い!

## 3 環境に配慮した製品

特定化学物質(MOCA(3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン))・鉛化合物を含まない環境に配慮した製品です。



## 4 貯蔵安定性に優れる

一般的に1成分形ウレタン塗膜防水材の場合、開缶後に空気中の水分と反応し表面からの硬化が始まります。開缶後の製品を保管した場合、表面の硬化が進むことにより使用が難しくなりますが、弊社製品 KF シールテクト WP-R は安定的にご使用頂く事が可能です。

※現場での保管状況・天候状況により表面に薄い膜が張る事がありますが、薄い膜を除去頂ければ品質に問題なくご使用頂く事が可能です。

開缶後  
でも  
使用可

## 5 小面積向け工期短縮工法について

専用硬化促進剤を添加頂けると、従来の1成分形ウレタン塗膜防水材に比べ大幅に硬化スピードを速める事が可能です。



専用硬化促進剤で  
さらに短時間に!

16時間 > 4時間\*

※条件: 23℃ 塗布量 2kg/㎡の場合

### 工法番号の見かた

MR = 密着工法

数字 = 防水材膜厚

SR = 通気緩衝シート工法

数字+T = 立上り工法

BMR = ベランダ工法(側溝・巾木仕様含む)

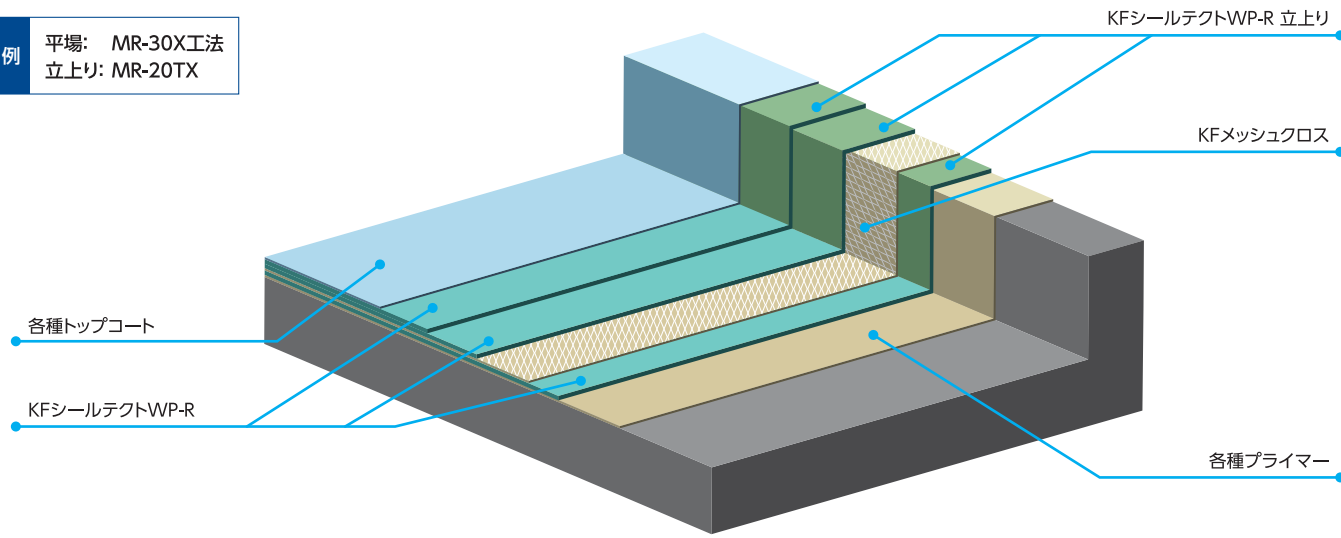
数字+X = 補強クロス工法

KSR = 公共建築工事標準仕様(X-1)

KMR = 公共建築工事標準仕様(X-2)

# KFシールテクトWP-R 密着工法

例 平場: MR-30X工法  
立上り: MR-20TX



## 平場仕様

工法番号	MR-20工法		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R ※2	1.3kg/㎡ ※2	16hr
3	KFシールテクトWP-R	1.3kg/㎡	16hr
4	各種トップコート ※6	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

工法番号	MR-20X工法		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R ※5	0.4kg/㎡	
	KFメッシュクロス	1.0m/㎡	
3	KFシールテクトWP-R	1.1kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R	1.1kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※6	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

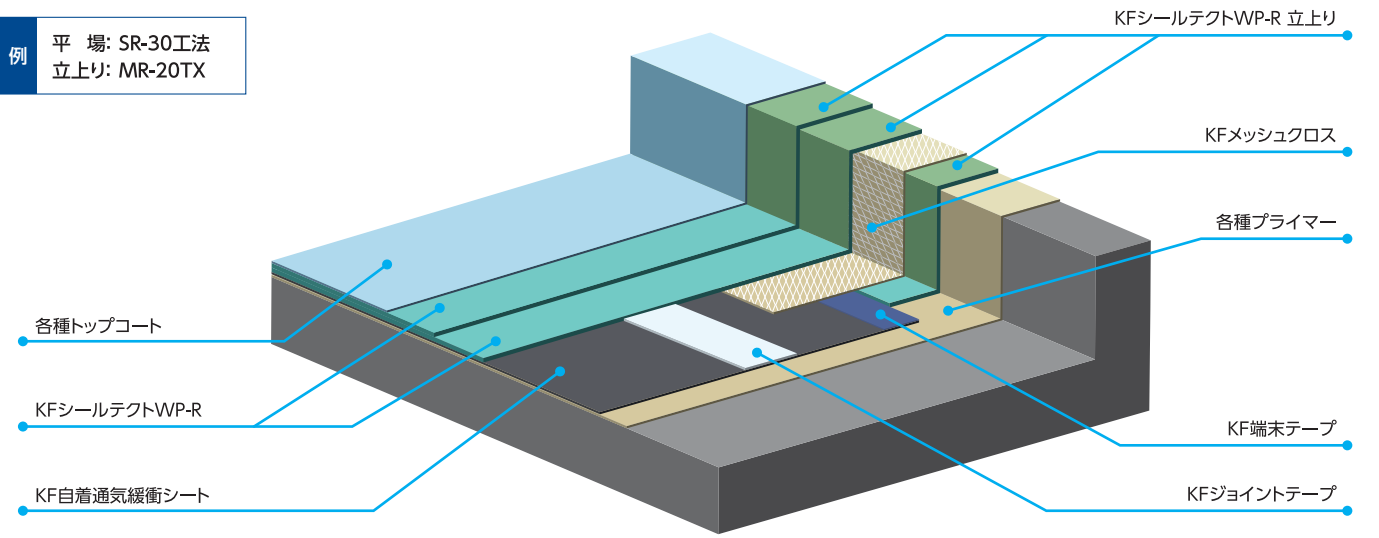
## 立上り仕様

工法番号	MR-20T工法		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R 立上り	1.4kg/㎡	16hr
3	KFシールテクトWP-R 立上り	1.4kg/㎡	16hr
4	各種トップコート ※6	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

※1 プライマーは下地に応じて選定をお願いします。また、プライマーの塗布量は下地状態によって変動致します。  
 ※2 防水層1層目にKFシールテクトWP-R中粘度を御使用頂く事も可能です。工程2の防水層1層目に中粘度を御使用の場合、塗布量1.4kg/㎡になります。  
 ※3 防水層1層目にKFシールテクトWP-R中粘度を御使用頂く事も可能です。工程2の防水層1層目に中粘度を御使用の場合、塗布量2.1kg/㎡になります。  
 ※4 工程2の防水層1層目にKFシールテクトWP-R中粘度を御使用頂いた場合、工程3の防水層2層目のKFシールテクトWP-Rは塗布量2.0kg/㎡になります。  
 ※5 KFシールテクトWP-R・KFシールテクトWP-R立上りは塗布後、速やかにKFメッシュクロスを貼り付けて下さい。  
 ※6 粗面仕上げの場合、各種トップコートに対しKFシールテクトUB-1 弾性骨材を2%添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布下さい。

# KFシールテクトWP-R 通気緩衝工法

例 平場: SR-30工法  
立上り: MR-20TX



## 平場仕様

工法番号	SR-20工法		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0m/㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2m/㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3m/㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2m/㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
ドレン設置 ※3	必要数	—	
3	KFシールテクトWP-R	1.3kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R	1.3kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

工法番号	SR-30工法		
防水材膜厚	3.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0m/㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2m/㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3m/㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2m/㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
ドレン設置 ※3	必要数	—	
3	KFシールテクトWP-R	2.0kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R	1.9kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

## 立上り仕様

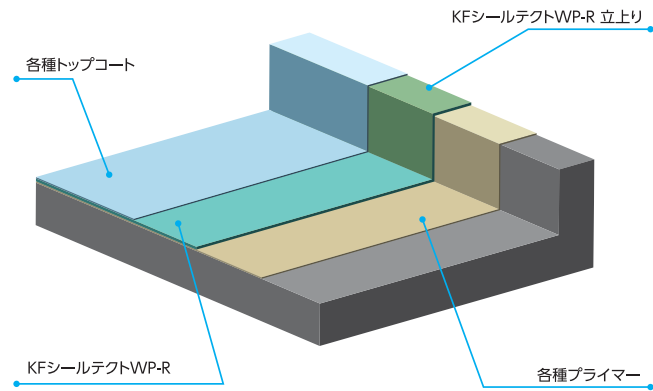
工法番号	MR-20T工法		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R 立上り	1.4kg/㎡	16hr
3	KFシールテクトWP-R 立上り	1.4kg/㎡	16hr
4	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

工法番号	MR-20TX		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R 立上り ※2	0.4kg/㎡	
	KFメッシュクロス	1.0m/㎡	
3	KFシールテクトWP-R 立上り	1.2kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R 立上り	1.2kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

※1 プライマーは下地に応じて選定をお願いします。また、プライマーの塗布量は下地状態によって変動致します。  
 ※2 KFシールテクトWP-R・KFシールテクトWP-R立上りは塗布後、速やかにKFメッシュクロスを貼り付けて下さい。  
 ※3 シート・テープ類について記載された塗布量は使用量となります。施工場所の状況によって使用量が変動しますのでご注意ください。  
 ※4 粗面仕上げの場合、各種トップコートに対しKFシールテクトUB-1 弾性骨材を2%添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布下さい。

# KFシールテクトWP-R ベランダ工法

例 平場: BMR-15工法  
立上り: BMR-14T工法



## 平場仕様

工法番号	BMR-15工法		
防水材膜厚	1.5mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクト WP-R	2.0kg/㎡	16hr
3	各種トップコート ※2	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

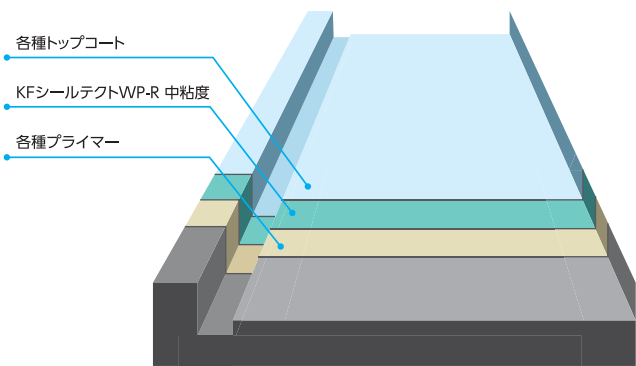
## 立上り仕様

工法番号	BMR-14T工法		
防水材膜厚	1.4mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R 立上り	2.0kg/㎡	16hr
3	各種トップコート ※2	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

※1 プライマーは下地に応じて選定をお願いします。また、プライマーの塗布量は下地状態によって変動致します。  
※2 粗面仕上げの場合、各種トップコートに対しKFシールテクトUB-1 弾性骨材を2%添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布下さい。

# KFシールテクトWP-R 側溝・巾木仕様

例 BMR-14 SH工法



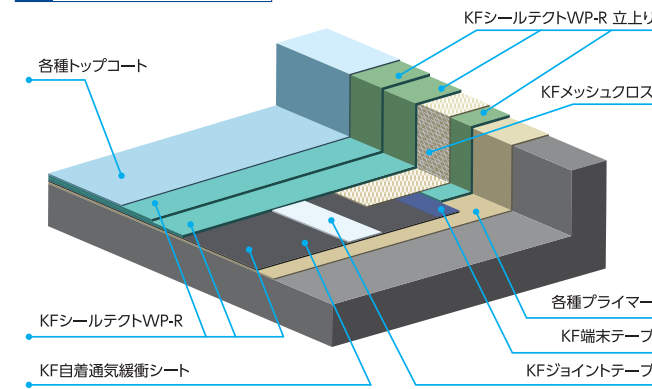
## 側溝・巾木仕様

工法番号	BMR-14 SH工法		
防水材膜厚	1.4mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクト WP-R 中粘度 ※2	2.0kg/㎡	16hr
3	各種トップコート ※3	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

※1 プライマーは下地に応じて選定をお願いします。また、プライマーの塗布量は下地状態によって変動致します。  
※2 粗面仕上げの場合、各種トップコートに対しKFシールテクトUB-1 弾性骨材を2%添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布下さい。  
※3 施工後に長尺塩ビ防汚シートを施工頂く事は可能です。

# KFシールテクトWP-R 公共建築工事標準仕様相当工法(X-1/X-2)

例 平場: KSR-30工法  
立上り: KMR-20TX

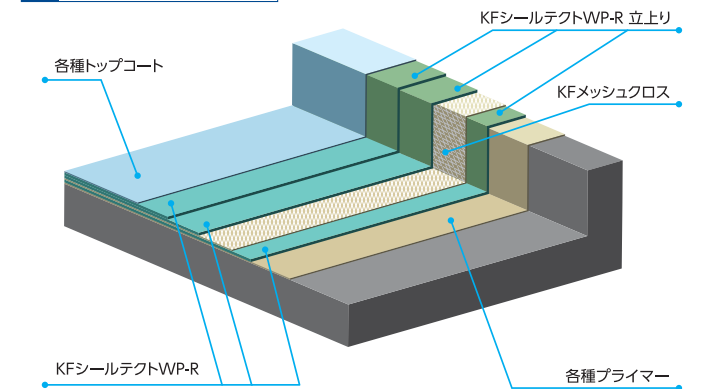


## 平場仕様(X-1)

工法番号	KSR-30工法		
防水材膜厚	3.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0m/㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2m/㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3m/㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2m/㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
	ドレン設置 ※3	必要数	—
3	KFシールテクトWP-R	2.0kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R	1.9kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

※1 プライマーは下地に応じて選定をお願いします。また、プライマーの塗布量は下地状態によって変動致します。  
※2 KFシールテクトWP-R・KFシールテクトWP-R立上りは塗布後、速やかにKFメッシュクロスを貼り付けて下さい。  
※3 シート・テープ類について記載された塗布量は使用量となります。施工場所の状況によって使用量が変動しますのでご注意ください。  
※4 粗面仕上げの場合、各種トップコートに対しKFシールテクトUB-1 弾性骨材を2%添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布下さい。

例 平場: KMR-30X工法  
立上り: KMR-20TX



## 平場仕様(X-2)

工法番号	KMR-30X工法		
防水材膜厚	3.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R ※2	0.4kg/㎡	—
	KFメッシュクロス	1.0m/㎡	
3	KFシールテクトWP-R	2.0kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R	1.5kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

## 立上り仕様(X-1・X-2共通)

工法番号	KMR-20TX		
防水材膜厚	2.0mm		
工程	製品名	塗布量	工程間隔(23℃)
1	各種プライマー ※1	0.2kg/㎡	1.5hr
2	KFシールテクトWP-R 立上り ※2	0.4kg/㎡	—
	KFメッシュクロス	1.0m/㎡	
3	KFシールテクトWP-R 立上り	1.2kg/㎡	16hr
4	KFシールテクトWP-R 立上り	1.2kg/㎡	16hr
5	各種トップコート ※4	0.2kg/㎡	工程内 16hr 最終養生 16hr

## 公共建築工事標準仕様 [平成31年版]

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(絶縁工法)		X-2(立上り工法)	
	材料・工法	kg/㎡	材料・工法	kg/㎡	材料・工法	kg/㎡
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り	0.3 (注3)	プライマー塗り	0.2	プライマー塗り	0.3 (注3)
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0 (注1)(注2)	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	3.0 (注1)(注2)
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	—	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	—
4	仕上塗料塗り(注4)	0.2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(注1)(注2)	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	0.2
5	—	—	仕上塗料塗り(注4)	0.2	仕上塗料塗り(注4)	—

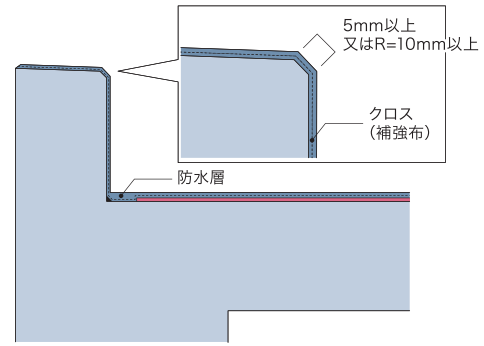
## 硬化物密度

製品名	硬化物密度
KFシールテクト WP-R	1.3
KFシールテクト WP-R 立上り	1.4

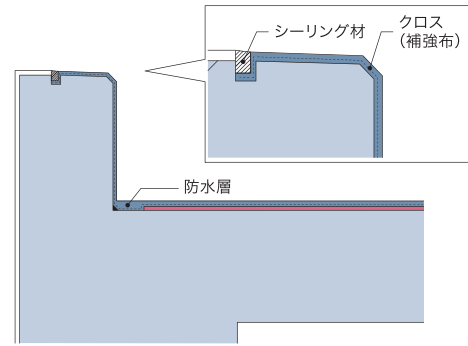
① 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあつては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算  
② ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。  
③ 接着剤以外による通気緩衝シートの張り付け方法は、主材料の製造所の仕様による。  
④ 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、主材料の製造所の仕様による。

# 各部の納り図

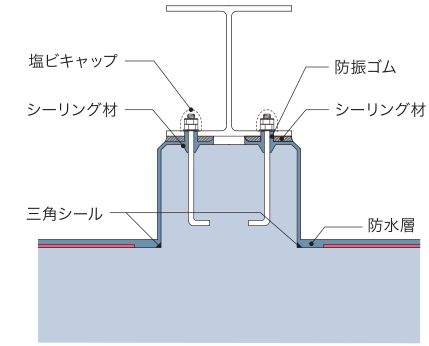
パラペット



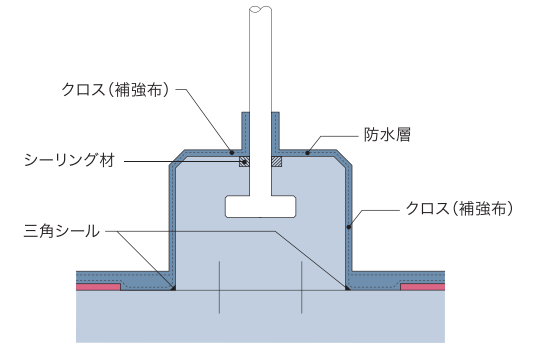
パラペット タイル取り合い



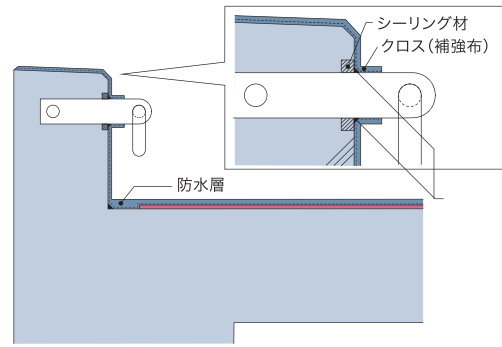
基礎架台



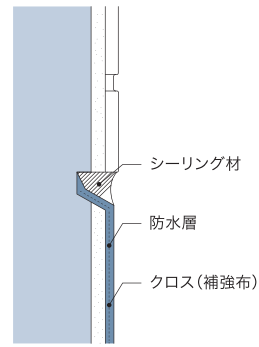
フェンス基礎



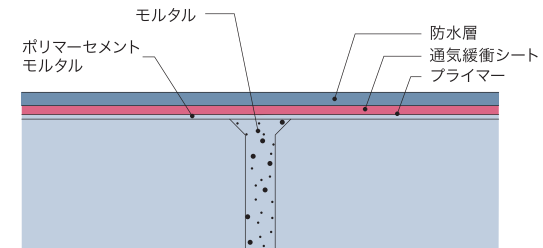
パラペット 丸環まわり



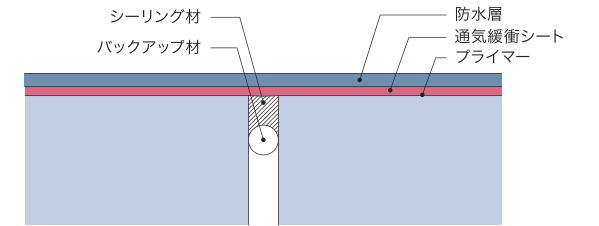
タイル壁取り合い



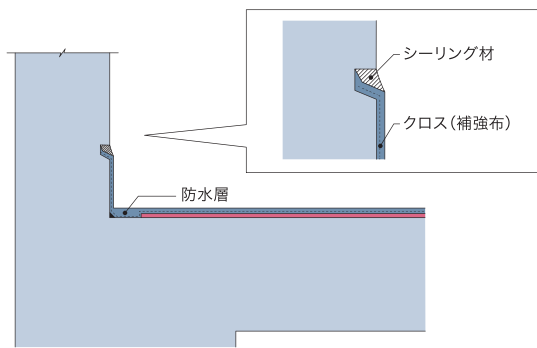
ALC板取り合い



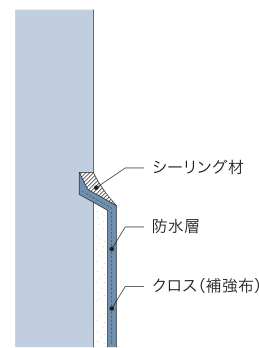
PCa板取り合い(通気緩衝工法の場合)



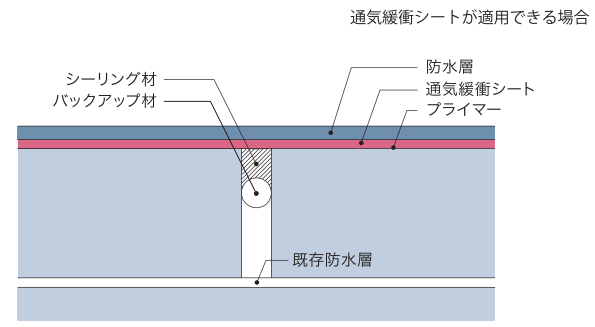
立上り 目地設置



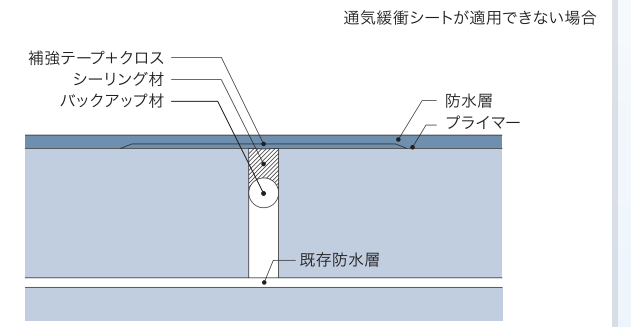
出巾木



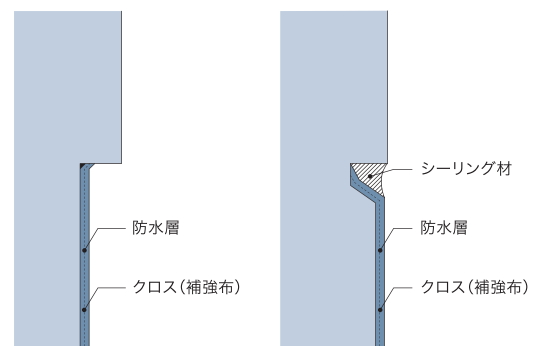
押えコンクリート伸縮目地部 (KFシールテクトWP通気緩衝工法の場合)



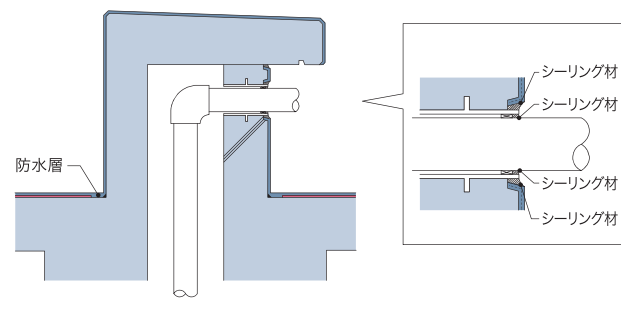
押えコンクリート伸縮目地部 (KFシールテクトWP密着工法の場合)



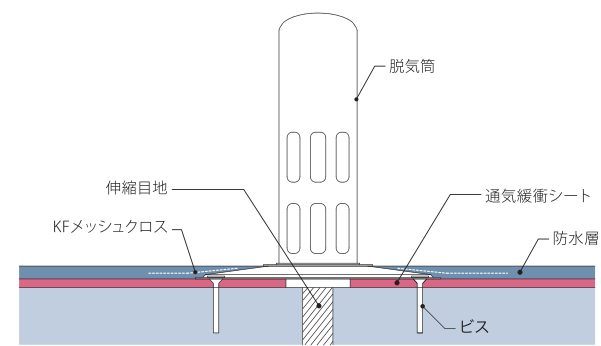
入巾木



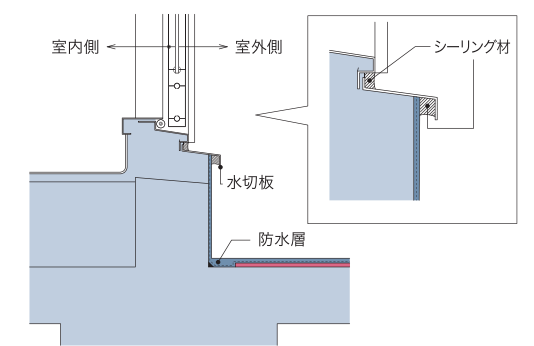
ハト小屋



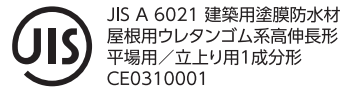
脱気筒回り



開口部



## 防水材



### KFシールテクトWP-R

- 厚膜に塗布してもシワ・ピンホール等の発生が極めて少なく綺麗且つ強靱な防水層を形成します。
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- JIS A 6021 建築用塗膜防水材屋根用ウレタンゴム系高伸長形 適合品。
- KFシールテクトWP硬化促進剤との併用で硬化時間が短くなり更に作業効率が向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

平場用	製品情報		
	荷姿	硬化物比重	色
	18kg/ 缶	1.3	淡グレー
	消防法		有機溶剤中毒予防規則
	指定可燃物		第3種有機溶剤



### KFシールテクトWP-R 立上り

- 弛み性に優れ厚膜に塗布しても均一且つ強靱な防水層を形成します。
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- JIS A 6021 建築用塗膜防水材屋根用ウレタンゴム系高伸長形 適合品。
- KFシールテクトWP硬化促進剤との併用で硬化時間が短くなり更に作業効率が向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

立上り用	製品情報		
	荷姿	硬化物比重	色
	18kg/ 缶	1.4	グレー
	消防法		有機溶剤中毒予防規則
	指定可燃物		第3種有機溶剤



### KFシールテクトWP-R 中粘度

- 中粘度タイプにて勾配がある施工箇所・側溝・巾木に最適です。
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- JIS A 6021 建築用塗膜防水材屋根用ウレタンゴム系高伸長形 適合品。
- KFシールテクトWP硬化促進剤との併用で硬化時間が短くなり更に作業効率が向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

中粘度用	製品情報		
	荷姿	硬化物比重	色
	18kg/ 缶	1.3	濃グレー
	消防法		有機溶剤中毒予防規則
	指定可燃物		第3種有機溶剤

#### 性状

項目	KFシールテクトWP-R	KFシールテクトWP-R 立上り	KFシールテクトWP-R 中粘度
配合比	1液	1液	1液
外観	淡グレー	グレー	濃グレー
粘度 (mPa·S/23℃)	11,000	150,000	33,000



#### 物性(JIS A6021に基づく性能(抜粋))

項目	規格値 (高伸長)	データ			
		KFシールテクトWP-R	KFシールテクトWP-R 立上り	KFシールテクトWP-R 中粘度	
引張性能	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 23℃	2.3 以上	5.5	5.8	5.3
	破断時の伸び率 (%) 23℃	450 以上	838	768	804
	抗張積 (N/mm) 23℃	280 以上	926	894	849
引裂性能	引裂強さ (N/mm) 23℃	14 以上	19.6	20.0	20.1



### KFシールテクトWP-R硬化促進剤

KFシールテクトWP-R・KFシールテクトWP-R立上り・KFシールテクトWP-R中粘度専用硬化促進剤

硬化促進剤	荷姿 3kg/ 缶	KFシールテクトWP-R 硬化促進剤添加量			添加なし			各防水材に対し2%添加		
		環境温度	5℃	10℃	15℃	23℃以上	10℃	23℃	35℃	
		硬化時間	72hr	72hr	48hr	16hr	16hr	4hr	3hr	
		可使時間	2hr			30min	20min	10min		

## プライマー類



### KFシールテクトUB-1プライマー

- 1成分形ウレタン樹脂プライマー
- 適用下地:RC、モルタル
- 硬化時間:1~1.5hr(23℃)
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

荷姿		製品情報	
正規荷姿	小缶荷姿	消防法	有機溶剤中毒予防規則
16kg/ 缶	4kg/ 缶	第4類第1石油類 非水溶性液体	第2種有機溶剤



### KFシールテクトUB-1 プライマーA

- 1成分形ウレタン樹脂プライマー
- 適用下地:RC、モルタル、ウレタン、FRP、ポリマーセメント
- 硬化時間:1.5~2hr(23℃)
- 有機則に該当しない環境対応形プライマーです。
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

荷姿		製品情報	
正規荷姿	小缶荷姿	消防法	有機溶剤中毒予防規則
14kg/ 缶	4kg/ 缶	第4類第1石油類 非水溶性液	非該当



### KFシールテクトUB-1 プライマーM

- 1成分形ウレタン樹脂プライマー
- 適用下地:金属面(鉄・トタン)
- 硬化時間:1~1.5hr(23℃)
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

荷姿		製品情報	
500ml/ 缶		消防法	有機溶剤中毒予防規則
		第4類第1石油類 非水溶性液	第2種有機溶剤



### KFシールテクトUB-1 プライマーV

- 1成分形ウレタン樹脂プライマー
- 適用下地:塩化ビニル樹脂下地
- 硬化時間:1.5~2hr(23℃)
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用下さい。

荷姿		製品情報	
正規荷姿	小缶荷姿	消防法	有機溶剤中毒予防規則
17kg/ 缶	3kg/ 缶	第4類第1石油類 非水溶性液	第2種有機溶剤

※既存防水材と既存防水材トップコートの付着力が弱い場合、各種プライマーを塗布した際にリフティング(縮れ)現象を起こす恐れがあります。事前に各種プライマーを小面積塗布し異常のないことを確認した後、ご使用下さい。対象の下地以外は既存防水材を撤去した後、KFシールテクトUB-1プライマー又はKFシールテクトUB-1プライマーAを塗布して下さい。

※施工面が降雨・結露等により水にあたった場合や防水層施工後3日以上経過した場合は必ず各種プライマーを塗布して下さい。金属面の錆はケレンした後、塗布して下さい。

# 使用材料

## トップコート類



### KFシールテクトUB-1 トップ

- 環境に配慮したTXフリータイプ（トルエン、キシレンが0.1%未満）の常温硬化型2液アクリルシリコン塗料です。
- 優れた耐候性を有し、紫外線等から長期にわたり防水層の劣化を防ぎます。
- 作業性、レベリング性に優れるため綺麗な仕上がりを得られます。

荷 姿			
正規荷姿		小缶荷姿	
15kg/SET		5kg/SET	
主剤:9kg/缶	硬化剤:6kg/缶	主剤:3kg/缶	硬化剤:2kg/缶

製品情報		
主・硬	消防法	有機溶剤中毒予防規則
主 剤	第4類第2、非水溶性液体	第3種有機溶剤
硬化剤		



### KFシールテクトUB-1 トップ 遮熱

- 2成分形アクリルシリコン樹脂トップコート
- 標準色：ライトグレー、ライトグリーン
- ※ライトグリーンは受注生産となります。

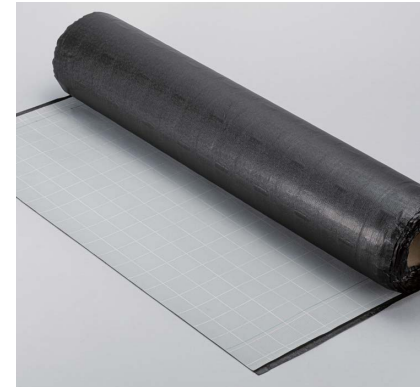
荷 姿			
正規荷姿		小缶荷姿	
15kg/SET		5kg/SET	
主剤:9kg/缶	硬化剤:6kg/缶	主剤:3kg/缶	硬化剤:2kg/缶

### ● KFシールテクトUB-1 トップ 及び KFシールテクトUB-1 トップ 遮熱 の性能・等

可使用時間		
季節	気温	可使用時間
夏	25~35℃	3hr
春・秋	15~25℃	5hr
冬	5~15℃	8hr

性能			
試験項目	試験結果	備 考	
乾燥時間	指触 20min 以内	JIS K 5600-1-1:1999	
歩行可能時間 (23℃)	16hr	KF シールテクト W-P-R に塗布	
耐酸性	異常なし	0.5% 硫酸、浸漬 1 週間	
耐アルカリ性	異常なし	飽和水酸化カルシウム、浸漬 1 週間	
仕上り性	良好	ローラー（中毛）塗装時	
促進耐候性 (XWOM) 光沢保持率 (%)	500hr	99%	JIS K 5600-7-7:2002
	1000hr	98%	
	2000hr	94%	
	3000hr	90%	

## シート・テープ類



### KF自着通気緩衝シート

荷 姿
サイズ：幅 1040 mm × 長さ 15.7 m



### KFメッシュクロス

荷 姿
サイズ：幅 1020 mm × 長さ 50 m



### KF端末テープ

荷 姿
サイズ：幅 75 mm × 長さ 25 m
16 巻/箱



### KFジョイントテープ

荷 姿
サイズ：幅 90 mm × 長さ 50 m
20 巻/箱



### KF補強テープ

荷 姿
サイズ：幅 140 mm × 長さ 50 m
7 巻/箱



### KFシールテクトUB-1弾性骨材

荷 姿
100 g / 袋
15 袋/箱

## その他



### ドレン・ストレーナ等



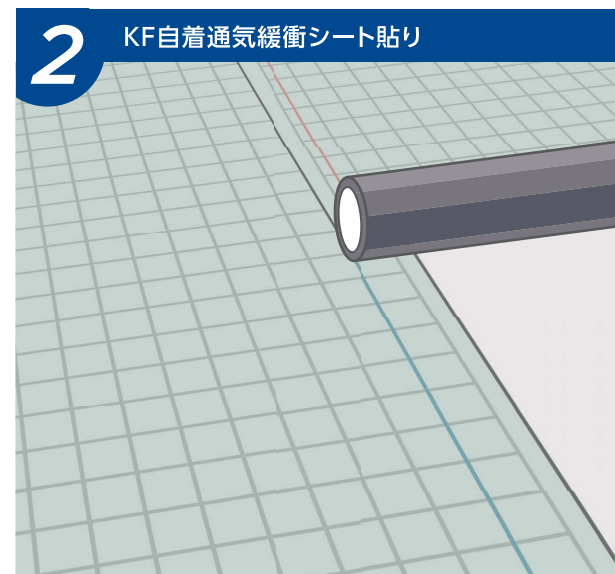
### 脱気筒

# シート・テープ類貼り付け方法

## KF自着通気緩衝シート及び各種テープ類の貼り付け方法 (例:SR-30工法)

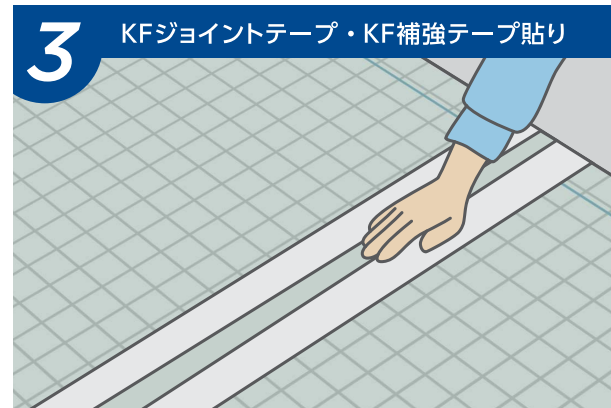


下地処理完了後、プライマーをウールローラー(中毛)刷毛を用いてムラなく均一に塗布して下さい。



KF自着通気緩衝シートは以下の通りねじれ・弛み・曲がりがないように貼り付けて下さい。

- ① 立上り部分は入隅から 100mm 離して貼り付けて下さい。
- ② 長手方向の張り合わせは青線の上に赤線側の端を重ねて貼り付けて下さい。段差がなくシームレスな仕上がりになります。
- ③ 貼り付け後、脱気筒の設置箇所・ドレン廻りのシートはカッターナイフで切り取り、小口は端末テープを貼り付け段差の無いように処理して下さい。
- ④ ③の処理後、脱気筒、ドレンを設置して下さい。



②③のシート貼り合わせ部分にKFジョイントテープを貼り付けて下さい。また、短手方向の貼り合せ箇所はKFジョイントテープを貼り付け、その上にKF補強テープを貼り付けて下さい。

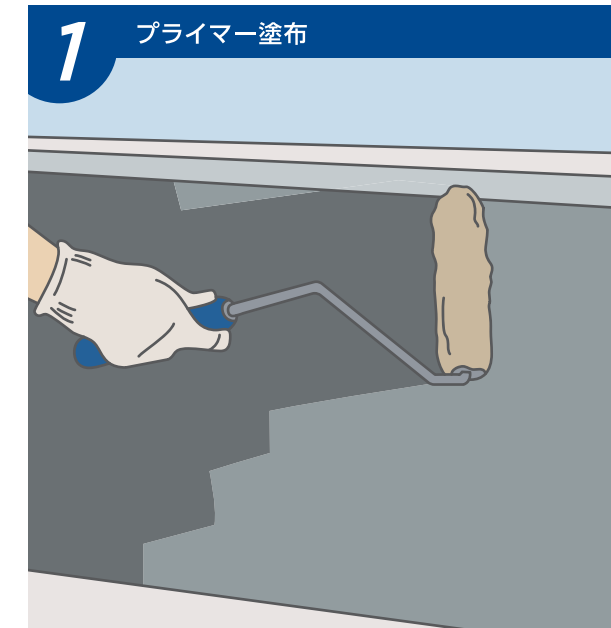


KF自着通気緩衝シートの端末にKF端末テープを貼り付けて下さい。



シート面に直接 KF シールテクト WP-R を指定の工法に従い塗布して下さい。KF シールテクト WP-R 塗布後、KFシールテクト UB-1 トップを指定の工法に従い塗布して下さい。  
※WP-R は WP-R 中粘度でも施工が可能です。

## KFメッシュクロス貼り付け方法 (例:MR-20TX)



下地処理完了後、プライマーをウールローラー(中毛)、刷毛を用いてムラなく均一に塗布して下さい。



KF シールテクト WP-R 立上りをゴムベラ・コテ等の工具で 0.4 kg /m<sup>2</sup>塗布して下さい。



②の作業後、速やかにKFメッシュクロスを浮き・歪みのないように貼り付けて下さい。KFメッシュクロスの貼り合せ幅は 50 mm 以上として下さい。



③の作業後、硬化していることを確認し、KF シールテクト WP-R 立上り、及びKFシールテクト UB-1 トップを指定の工法に従い塗布して下さい。



# 取扱上の注意点

## 下地処理について

### 1. 新設時の下地処理 (下地：モルタル、RC)

- 下地の欠損部等はポリマーセメントモルタルなどで補修を行い平滑面としてください。
- 表面に付着したモルタルのこぼれ等の凸部、レイトンス等の脆弱層はケレン棒、皮スキ、ディスクサンダー等で除去しポリマーセメントモルタルなどで平滑面として下さい。
- 表面の油分は中性洗剤で洗った後、水洗いを充分に行い、十分に乾燥させてください。
- しみこんだ油分はワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で除去してください。除去後、凹みはポリマーセメントモルタルなどで平滑に仕上げてください。
- 下地の勾配は1/100～5/100の範囲となるようポリマーセメントモルタルなどで調整してください。1/100以下の場合、水溜りの発生により防水層が早期に劣化する恐れがあります。5/100以上の場合、水上側で防水層の膜厚が確保し難くなり、防水層の損傷や早期劣化の恐れがあります。
- 下地は十分な養生期間をとり乾燥させてください。モルタルの場合は2週間以上、RCは3週間以上を目安として下さい(23℃環境)。
- ケット水分計により含水率10%以下であることを確認し、記録して下さい。乾燥が不十分な場合、剥がれ、ピンホール、フクレ等が発生し防水層に欠損が生じる恐れがあります。
- 降雨後は2日以上乾燥期間を取って下さい。
- ドレン廻り、排水溝は水が溜まりやすいので乾燥状態の確認を十分に行って下さい。
- 出隅は膜厚確保のため面取り(5 mm程度)もしくはR=10 mm以上で丸く仕上げてください。

- 原則として出隅・入隅ともにKFメッシュクロスを使用して補強張りをしてください。補強張りは、KFシールテクトプライマー又はKFシールテクトプライマー Aを0.2 kg/m<sup>2</sup>塗布し、KFシールテクトWP-Rを0.4kg/m<sup>2</sup>塗りつけKFメッシュクロスを貼りつけてください。

### 2. 改修時の下地処理について (下地：FRP、ウレタン塗膜防水材、 ポリマーセメント系防水材、等)

- 下地に浮きが生じている場合は、事前に電気工具(ディスクサンダー等)により研り取ってください。研り取った箇所はプライマー塗布・硬化後、速乾形ウレタンシーリング材で段差補修を行ってください。
- 1mm未満のクラックはプライマー塗布・硬化後、速乾形ウレタンシーリング材をすり込んでください。
- 1mm以上2mm未満のクラックはディスクサンダー等でUカットしプライマー塗布・硬化後、速乾形ウレタンシーリング材を充填してください。
- 2mm以上の場合にはUカットしプライマー塗布・硬化後、速乾形ウレタンシーリング材を充填して下さい。硬化後、その部分にKFシールテクトプライマー又はKFシールテクトプライマー Aを0.2 kg/m<sup>2</sup>塗布し、KFシールテクトWP-Rを0.4 kg/m<sup>2</sup>塗りつけKFメッシュクロスを貼ることで補強してください。
- 目地部の既存シール材を打ち替える場合、既存シール材撤去後、プライマー塗布・硬化した後、バックアップ材を挿入し速乾形ウレタンシーリング材を充填してください。バックアップ材が挿入されていない場合、3点接着となり目地に充填した速乾形ウレタンシーリング材が切れる恐れがあります。シーリング材硬化後、KFメッシュクロスを使用して補強張りをしてください。補強張りの施工方法は上記参照下さい(但し、通気緩衝工法の場合は不要です)。
- 手すり金具、ルーフドレン、貫通パイプ等の金物まわりは、塗料、錆び等をはがし、モルタル等との取り合い部分をUカットして研り、金属下地用プライマー「KFシールテクトUB-1プライマー M」を塗布し硬化後に速乾形ウレタンシーリング材を充填してください。
- 高さ2mm以上の凸部はディスクサンダー等で削り平滑面としてください。

- 小さな凹み、欠け等はプライマーを塗布・乾燥後、速乾形ウレタンシーリング材を充填してください。
- 大きい凹みや不陸等は既存防水材をディスクサンダー等で研り取り、プライマー塗布・硬化後、速乾形ウレタンシーリング材で段差補修を行ってください。段差が高くKFシールテクトWP-R塗布後、水溜りを生じる恐れがある場合は更にポリマーセメントモルタルで平滑面として下さい。
- 既存防水材がFRP及びウレタン防水材の場合、埃・塵を除去した後、アセトン等でシンナー拭きを行い、脱脂して下さい。
- 改修下地がFRP防水材・ウレタン塗膜防水材・ポリマーセメント系防水材以外の場合、弊社営業担当者までお問合せ下さい。

## 施工時の作業環境について

- 降雨時および降雨直後の施工は避けてください。また、施工後、養生期間中に降雨が予想される場合も、施工を避けてください。
- 強風時の施工は避けてください。
- 施工に適した気温・湿度等は下表のとおりです。

気温	湿度	下地温度
5℃～35℃	80%以下	5℃～55℃

## 材料の取扱い・保管について

- 以下の製品は空気中の水分と反応して硬化するため、開缶後は速やかに使用して下さい。

KFシールテクトWP-R  
KFシールテクトWP-R 立上り  
KFシールテクトWP-R 中粘度  
KFシールテクトUB-1プライマー  
KFシールテクトUB-1プライマーA  
KFシールテクトUB-1プライマーM  
KFシールテクトUB-1プライマーV

- 防水層施工後は深部まで硬化したことを確認してから次工程に移ってください。深部まで硬化していない場合トップコート塗布後にリフティング(縮れ現象)を生じ仕上り不良となる恐れがあります。
- 各工程の養生時間は厳守してください。剥がれ等の付着不良を起こす恐れがあります。
- 特にトップコート塗布後、最終養生時間16hr(23℃)を厳守して下さい。
- 防水層施工後、トップコート塗布までの期間が2日以上空いた場合、または降雨にあった場合はKFシールテクトプライマー Aを塗布しトップコートを塗布してください。
- トップコートは、塗布後に塗り継ぎや補修等で再塗装する場合は翌日以降としてください。
- KFシールテクトUB-1トップは配合比(主剤3:硬化剤2)を必ず守り電動ミキサー等によって良く攪拌・混合してから塗装して下さい。
- 使用した施工器具等は速やかに溶剤(トルエン・キシレン等)によって洗浄してください。使用材料が固化し施工器具が使用できなくなる恐れがあります。
- 作業前までに各使用材料のSDSをご覧ください。取扱い・保管・廃棄方法についてご確認ください。
- 施工直後に降雨・汗等の水分が施工面にあたった場合、凹みや色分け等の不具合を生じる恐れがあります。
- 特に防水層は規定塗布量を厳守するように施工してください。塗布量の過不足は防水機能低下の原因となります。
- 各種防水材の保管環境については以下の通りです。

### 夏期

直射日光のあたらない風通しのよい日陰で保管して下さい。各種防水材にKFシールテクトWP硬化促進剤を添加して使用する場合、液温上昇によって可使時間が短くなり材料ロスや仕上り不良の原因となります。

### 冬期

低温環境での保管は粘度上昇のため作業性が悪くなります。室内等の暖かい場所に置か、使用前に温める等の処置をしてください。

# 取扱上の注意点

- 原則的に希釈は行わないでください。各種防水材の粘度を調整する場合、防水材塗布量を管理した上で、各種防水材の重量に対し3%を超えない量で溶剤(トルエン・キシレン)又はウレタンシンナーによって希釈してください。過希釈は防水機能低下の原因となりますので厳守して下さい。また、トップコート及びプライマーは無希釈で使用して下さい。

## ご使用時の注意点

- 防水層の上を歩行する場合は、ハイヒール・スパイクシューズ等、防水層を損傷するおそれのある履物を使用しないでください。
- 防水層は可燃物ですので、その上では火気を使用しないでください。たばこの吸殻の投げ捨てや花火等はしないでください。
- 防水層の上で重い物をひきずったり、防水層に角鉄材等の損傷を与えるものを落とさないで下さい。防水層が剥離したり損傷を受けます。
- 防水層の上にガソリン・溶剤・不凍液等をこぼさないで下さい。防水層が軟化してフクレ・剥がれが生じます。
- 防水層の上に椅子・テーブル等を置く場合、足にゴムキャップを付けるなどによって防水層を保護して下さい。また、角のあるものを置く場合はその下にゴム板を敷いてください。また、カッター等の鋭利なもので傷つけないで下さい。なお、ゴム板等は材質に注意して下さい。変色や軟化の恐れがあります。
- 防水層の上でゴルフの練習や一輪車・ローラースケートの練習は行わないで下さい。クラブや車輪で防水層を傷つけるおそれがあります。
- 防水層の上で犬や鶏等のペットは飼わないでください。
- 防水層の清掃の際は中性洗剤以外の洗剤は使用しないで下さい。
- 降雨や清掃などで防水層が水に濡れた状態では大変滑りやすいのでご注意ください。
- クーリングタワーの防藻剤、殺菌剤等が防水層にあたりと損傷するおそれがありますのでご注意下さい。

- 防水層は鳥害を受ける可能性があります。
- 防水層の上に敷物等を敷くなどにより常時水が防水層にあたるような状態とならないようにして下さい。
- 防水施工面を定期的に清掃してください。
- 特に排水口の周りは排水機能を確保のため土砂等が堆積しないようにして下さい。
- 施工後3ヵ年毎にひび割れ・剥離・フクレを生じている箇所がないか防水施工面の状態をご確認下さい。なお、万が一異常が認められた場合は施工店にご相談ください。

## 使用材料一覧

種類	製品名	規格	荷姿	容器	施工面積目安(※1)	
防水材	KFシールテクトWP-R	1 成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021 建築用塗膜防水 屋根用ウレタンゴム系高伸長形適合品	18kg/ 缶	石油缶	3mm厚(3.9kg/㎡) 2mm厚(2.6kg/㎡) 1.5mm厚(2.0kg/㎡)	約4.6㎡/缶 約6.9㎡/缶 約9.0㎡/缶
	KFシールテクトWP-R立上り	1 成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021 建築用塗膜防水 屋根用ウレタンゴム系高伸長形適合品	18kg/ 缶	石油缶	2mm厚(2.8kg/㎡) 1.4mm厚(2.0kg/㎡)	約6.4㎡/缶 約9.0㎡/缶
	KFシールテクトWP-R中粘度	1 成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021 建築用塗膜防水 屋根用ウレタンゴム系高伸長形適合品	18kg/ 缶	石油缶	3mm厚(3.9kg/㎡) 2mm厚(2.6kg/㎡) 1.5mm厚(2.0kg/㎡)	約4.6㎡/缶 約6.9㎡/缶 約9.0㎡/缶
	KFシールテクトWP-R硬化促進剤	KFシールテクトWP-R KFシールテクトWP-R立上り KFシールテクトWP-R中粘度 専用硬化促進剤	3kg/ 缶	半切缶	下記防水材に対しKFシールテクト WP-R硬化促進剤1缶あたり約8缶分 KFシールテクトWP-R KFシールテクトWP-R立上り KFシールテクトWP-R中粘度	
プライマー	KFシールテクトUB-1プライマー	1 成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 速乾タイプ	16kg/ 缶 4kg/ 缶	石油缶 5ℓ缶	0.2kg/㎡	80㎡/缶 20㎡/缶
	KFシールテクトUB-1プライマー-A	1 成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 環境対応タイプ	14kg/ 缶 4kg/ 缶	石油缶 5ℓ缶	0.2kg/㎡	70㎡/缶 20㎡/缶
	KFシールテクトUB-1プライマー-M	1 成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 金属用プライマー	500ml/ 缶	1ℓ缶	0.2kg/㎡	2.5㎡/缶
	KFシールテクトUB-1プライマー-V	1 成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 塩化ビニル樹脂下地用プライマー	17kg/ 缶 3kg/ 缶	石油缶 5ℓ缶	0.2kg/㎡	85㎡/缶 15㎡/缶
トップコート	KFシールテクトUB-1 トップ	2 液反応硬化形 アクリルシリコン樹脂塗料 ウレタン防水材用 高耐候性上塗り材 <標準色> グレー、Yグレー、グリーン、 ライトグリーン、ノースブラウン ※グリーン、ライトグリーンは受注生産となります。	15kg/SET 主剤：9kg/缶 硬化剤：6kg/缶 5kg/SET 主剤：3kg/缶 硬化剤：2kg/缶	主剤：石油缶 硬化剤：半切缶 主剤：半切缶 硬化剤：5ℓ缶	0.2kg/㎡	75㎡/SET 25㎡/SET
	KFシールテクトUB-1 トップ 遮熱	2 液反応硬化形 アクリルシリコン樹脂塗料 ウレタン防水材用 遮熱タイプ <標準色> ライトグレー、ライトグリーン ※ライトグリーンは受注生産となります。	15kg/SET 主剤：9kg/缶 硬化剤：6kg/缶 5kg/SET 主剤：3kg/缶 硬化剤：2kg/缶	主剤：石油缶 硬化剤：半切缶 主剤：半切缶 硬化剤：5ℓ缶	0.2kg/㎡	75㎡/SET 25㎡/SET
	KFシールテクトUB-1弾性骨材	KFシールテクトUB-1 トップ専用ゴム粉	0.1kg/袋 (15袋/箱)	袋：チャック付ビニール 箱：ダンボール	KFシールテクトUB-1 トップ 15kg/SETあたり0.1kg/袋×3袋 5kg/SETあたり0.1kg/袋×1袋	
副資材関連	KFメッシュクロス	ポリエステルクロス	1020mm巾× 50m/巻	—	約51㎡/巻	
	KF自着通気緩衝シート	高性能通気緩衝シート改質 アスファルト粘着層により接着	1040mm巾× 15.7m/巻	—	約15㎡/巻	
	KF端末テープ	KF自着通気シート用端末テープ ブリード防止ブチルゴム粘着層により接着	75mm巾× 25m/巻 (16本/箱)	—	—	
	KFジョイントテープ	ビニロンメッシュ粘着付テープ	90mm巾× 50m/巻 (20本/箱)	—	—	
	KF補強テープ	有孔フィルム補強メッシュ 複合テープ	140mm巾× 50m/巻 (7本/箱)	—	—	
	脱気筒	ステンレス製 高さ：191～194mm、 全径：190mm	各種サイズ (2個/箱)	—	50㎡に1個を目安に設置	
	ドレン・ストレーナ等	角型鉛改修ドレン 表面：生地仕上または砂付仕上 形状：タテ型・ヨコ型(各サイズあり)	ドレン・ストレーナ 各種サイズ (2個/箱)	—	必要箇所	